

目次



宮田工場



苅田工場



小倉工場

目次	01
あいさつ	02
環境理念	03
重点取り組み	04
環境方針取り組みの状況	05-17
(巻末データ) CO ₂ ・廃棄物・VOC	18

本報告書は2018年度の活動を対象期間としておりますが、一部の項目については2019年7月までの活動も含みます

「社会の一員として共に歩み、 心から信頼される企業へ」

1. 地域社会より信頼される取り組み

└───────────┬───────────┘
 └───────────┘
 ・環境リスク未然防止

2. 地球環境保全への取り組み

└───────────┬───────────┘
 └───────────┘
 └───────────┘
 └───────────┘
 ・低炭素社会の構築に向けた取り組み
 ・循環型社会の構築に向けた取り組み
 ・環境保全と自然共生社会の構築

トヨタ自動車九州(株)はTMK Vision2030を策定し、その中で「トップクラスの環境にやさしいものづくり」に努めています。あわせて、良き企業市民として自治体・地域とのコミュニケーションを密に図り、地域社会より信頼され持続的に成長できるよう取り組みを進めています。

トヨタ自動車(株)が発表した『トヨタ環境チャレンジ2050』の達成に向け、私たちもオールトヨタの一員として活動を推進しています。

設計・開発部門では「新車CO2」「ライフサイクルCO2」、生技・製造部門では「工場CO2」をそれぞれゼロにするべく、画期的なCO2低減施策として設備、運用改善によるCO2低減と再生可能エネルギーの導入推進など社内のCO2低減推進体制を整備して活動を強化。中長期では2030年に向けてCO2低減目標を掲げ、日常改善、革新技術導入、原動力改善、再生可能エネルギーの導入検討など積極的に取り組んでいます。

また、循環型社会への貢献、地域共生、CSR向上のため、環境違反苦情ゼロ、環境教育、自然共生活動など幅広い施策を推進しています。

私たちは、将来の地球環境を守り、持続可能な社会を実現するため、直面する環境課題を「自分の問題」として捉えてまいります。会社は効率的な生産によるCO2低減、自然共生の取り組みによる地域との共生、個人はこまめな照明OFFやごみの分別、リサイクルの徹底やマイカーの油漏れ防止など身近な活動を大切にし、次世代が安心して暮らすことができる美しい環境「ホームプラネット」の実現につなげてまいります。

本報告書を通じ、私たちの環境への取り組みを理解していただくとともに、皆さまから率直なご意見やご指導を賜り、さらなる環境改善に努め、信頼される企業を目指してまいります。

生産環境委員会 委員長
車両本部 本部長
取締役 米岡 俊郎